

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.0</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>					<b>2.9</b>
<b>1 音環境</b>			<b>2.9</b>	0.15	<b>2.7</b>	1.00		<b>2.8</b>
<b>1.1 騒音</b>			<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40		
1 室内騒音レベル			<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	1.00		
2 設備騒音対策			-	-	-	-		
<b>1.2 遮音</b>			<b>3.8</b>	0.40	<b>3.3</b>	0.40		
1 開口部遮音性能		T-2のサッシを採用しました。	<b>5.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.30		
2 界壁遮音性能			<b>3.0</b>	0.60	<b>2.0</b>	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.20		
<b>1.3 吸音</b>			<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20		
<b>2 温熱環境</b>			<b>2.2</b>	0.35	<b>2.6</b>	1.00		<b>2.3</b>
<b>2.1 室温制御</b>			<b>2.2</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50		
1 室温			<b>3.0</b>	0.38	<b>3.0</b>	0.57		
2 負荷変動・追従制御性			-	-	-	-		
3 外皮性能			<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.43		
4 ゾーン別制御性			<b>1.0</b>	0.38	-	-		
5 温度・湿度制御			-	-	-	-		
6 個別制御			-	-	-	-		
7 時間外空調に対する配慮			-	-	-	-		
8 監視システム			-	-	-	-		
<b>2.2 湿度制御</b>			<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20		
<b>2.3 空調方式</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30		
<b>3 光・視環境</b>			<b>3.5</b>	0.25	<b>3.8</b>	1.00		<b>3.6</b>
<b>3.1 昼光利用</b>			<b>4.2</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.30		
1 昼光率		床面付近から天井までの窓を有しています。	<b>5.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.60		
2 方位別開口			-	-	<b>5.0</b>	-		
3 昼光利用設備			<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40		
<b>3.2 グレア対策</b>			<b>2.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30		
1 照明器具のグレア			-	-	-	-		
2 昼光制御			<b>2.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	1.00		
3 映り込み対策			-	-	-	-		
<b>3.3 照度</b>			<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15		
<b>3.4 照明制御</b>		点滅区分を分け、細やかな照明制御をしました。	<b>5.0</b>	0.25	<b>5.0</b>	0.25		
<b>4 空気環境</b>			<b>3.4</b>	0.25	<b>3.0</b>	1.00		<b>3.2</b>
<b>4.1 発生源対策</b>			<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.63		
1 化学汚染物質			<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	1.00		
2 アスベスト対策			-	-	-	-		
3 ダニ・カビ等			-	-	-	-		
4 レジオネラ対策			-	-	-	-		
<b>4.2 換気</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.38		
1 換気量			<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33		
2 自然換気性能			<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.33		
3 取り入れ外気への配慮			<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33		
4 給気計画			-	-	-	-		
<b>4.3 運用管理</b>			<b>5.0</b>	0.20	-	-		
1 CO <sub>2</sub> の監視			<b>3.0</b>	-	-	-		
2 喫煙の制御		館内禁煙となっています。	<b>5.0</b>	1.00	-	-		
<b>Q2 サービス性能</b>			-	0.30	-	-		<b>3.6</b>
<b>1 機能性</b>			<b>3.7</b>	0.40	<b>4.6</b>	1.00		<b>4.0</b>
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>			<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60		
1 広さ・収納性		1床室10㎡以上、多床室8㎡/床以上を有しています。	<b>5.0</b>	-	<b>5.0</b>	1.00		
2 高度情報通信設備対応			<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-		
3 バリアフリー計画			<b>3.0</b>	1.00	-	-		
<b>1.2 心理性・快適性</b>			<b>4.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.40		
1 広さ感・景観		外部窓面積を大きくした。光庭を設け内部も広さを感じさせました。	<b>3.0</b>	-	<b>4.0</b>	0.50		
2 リフレッシュスペース			-	-	-	-		
3 内装計画		木質系の材料を設け、温かみのある環境づくりをしました。	<b>4.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	0.50		
<b>1.3 維持管理</b>			<b>4.5</b>	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		汚れの除去や清掃が容易なタイルを採用しました。	<b>5.0</b>	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		材料を極力統一し、特注品でなく既製品を多用しました。	<b>4.0</b>	0.50	-	-		
3 衛生管理業務			-	-	-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>			<b>3.5</b>	0.31	-	-		<b>3.5</b>
<b>2.1 耐震・免震</b>			<b>3.8</b>	0.48	-	-		
1 耐震性		病院のため、用途係数1.25として、構造計算しました。	<b>4.0</b>	0.80	-	-		
2 免震・制振性能			<b>3.0</b>	0.20	-	-		
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>			<b>3.3</b>	0.33	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		水セメント比を50.5%、Fc=33、スラブ18cmした。(等級2相当)	<b>4.0</b>	0.23	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			<b>3.0</b>	0.23	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			<b>3.0</b>	0.09	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		浴室など高多湿室のダクトにステンレスダクトを使用しています。	<b>4.0</b>	0.08	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			<b>3.0</b>	0.15	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔			<b>3.0</b>	0.23	-	-		

2.4 信頼性			3.4	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	節水器具を採用し、敷地内の井戸水を利用しています。	4.0	0.20	-	-	
3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	配線ルートのビッドに侵入した水は排水ポンプにて排水可能です。	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.1	0.29	3.8	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	4.6	0.50	
1	階高のゆとり	階高は3.9mとしました。	5.0	0.60	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	乾式壁を多用し、自由度を増しました。	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			2.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3
1 建物の熱負荷抑制			2.2	0.30	-	-	2.2
2 自然エネルギー利用			3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		パッケージエアコンや、LED照明を採用しました。	5.0	0.30	-	-	5.0
集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)		ERR=37.7%	5.0	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	-	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.7	0.63	-	-	2.7
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	スラブ・外壁以外の壁は、乾式工法を採用しています。	4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		LCCO2が標準より29%低い排出量となりました。	4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮			2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制		1.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	ゴミの減量化・分別に取り組んでいます。	5.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、日照障害の抑制			3.3	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制	建基法の等時間日影(3h/5h)を敷地内で納まる計画とした。	4.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	